

令和3年10月 教育委員会 定例会 会議録

1 日時

開 会 令和3年10月28日(木) 16時00分
閉 会 令和3年10月28日(木) 16時50分

2 場 所

保健センター 集団検診室

3 出席した教育長及び委員の氏名

教育長 影 山 吉 則
委 員 早 瀬 芳 宏
委 員 平 田 賢 弘
委 員 岩 本 秀 一

4 欠席した委員の氏名

委 員 大 西 稚 子

5 会議に出席した職員の職氏名

教育部長	星 洋 昭
学校教育課長	安 藤 隆
指導室参事	林 毅 年
生涯学習課長	上 山 昭 二
図書館長	竹 迫 知 美
だて歴史文化ミュージアム館長	石 澤 高 幸

6 会議録作成のため指名された職員の職氏名

学校教育課企画総務係長 渡 邊 純 一

7 会議録署名

教育長 影 山 吉 則
委 員 早 瀬 芳 宏

開 会 （16時00分）

◎影山教育長

ただいまから、令和3年10月伊達市教育委員会・定例会を開会いたします。

大西委員から欠席する旨の連絡がありましたので、ご報告いたします。

本定例会の会議録署名委員は、早瀬委員を指名いたします。

本日の議事日程は、お配りしたとおりです。

本日の会議に付す事件は、議案第1号から報告第2号までの4案件です。

お手元に配付した議事日程のとおり進め、その後、各課からの事業報告を受けてまいります。

なお、議案第1号、報告第2号につきましては、人事などに関する案件ですので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定により非公開として進めるとともに、報告第2号については関係部課長以外にも退出していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議案第1号の非公開案件は、原案のとおり承認される。

◎影山教育長

それでは、議案第2号について、学校教育課長から提案理由を説明いたします。

◎安藤学校教育課長

議案第2号「伊達市長の権限に属する事務の一部を委任する規則の一部改正に関する協議について」ご説明いたします。議案書は3ページから6ページとなります。

まず、5ページをご覧ください。伊達市長の権限に属する事務の一部を委任する規則第2条第3号に基づき、1,000万円未満の「学校の用に供する物品の購入」及び「教育委員会の所管する学校施設の保守管理業務委託」の契約については、教育委員会事務局で実施してきましたが、今般、伊達市が進める行政改革の一環として、入札事務の効率化を図る見直しが庁内で検討されているところであります。

については、市長部局と教育委員会の入札事務を集約し事務の効率化を図ることとなったことから、伊達市長の権限に属する事務の一部を委任する規則の一部改正に関して、資料4ページのとおり、契約事務にかかる教育委員会への委任事項から削るという協議を市長部局に依頼するという案件であります。

なお、資料6ページになりますが、関係規則の一部改正に伴う議案については、11月開催の定例会において、議案として提出し、ご協議いただくこととなりますので、よろしく願いいたします。

説明は以上となります。

◎影山教育長

議案第2号について、質疑はございませんか。

◎岩本委員

今まで教育委員会事務局でやっていたことを市長部局で一括して行うという認識でよろしいでしょうか。

◎安藤学校教育課長

委員のおっしゃるとおりです、入札にかかる部分については、市長部局の財産契約課で

一括して事務を行います。ただ、水道部は企業会計でありますので、今まで通りで行うこととなります。

◎岩本委員

今まで契約していたものが出来なくなるなど、子供達への不利益、デメリットはないのでしょうか。

◎安藤学校教育課長

あくまで事務作業の効率化でありますので、そのようなことはありません。

◎早瀬委員

業務の要否は教育委員会で取り決めて、入札の作業だけをまかせるということによろしいでしょうか。

◎安藤学校教育課長

そのとおりです。契約書についても教育長名だったものが伊達市長名になります。

◎影山教育長

他に、質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎影山教育長

お諮りいたします。

議案第2号については、原案のとおり承認することとしてよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎影山教育長

議案第2号については、原案のとおり承認されました。

それでは、報告第1号について、指導室参事から説明いたします。

◎林指導室参事

報告第1号「令和3年度全国学力・学習状況調査の伊達市における調査結果について」をご説明いたします。

このことにつきまして、資料7ページをご覧ください。こちらは北海道が公表した「令和3年度全国学力・学習状況調査調査結果のポイント」に基づき、伊達市と全国、北海道の公立学校の調査結果について報告するものであります。

カラー版の資料1ページをご覧ください。こちらでは、調査の概要をお示ししております。令和3年度は、教科に関する調査として、小学校では国語、算数の2教科、同じく中学校でも国語、数学の2教科について実施しております。また、生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査を実施しました。なお、教科に関する調査は、常に活用できるようになっていることが望ましい「知識・技能」等と、それらを実生活の様々な場面に活用する力等を一体的に問う問題の形式となっております。調査実施は、例年ですと、4月中旬に行っているところですが、今年度は、昨年からの新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、全国統一の実施日として5月27日に実施しております。

次に、2ページをご覧ください。ここからは、結果の概要についてお示ししております。なお、過度な競争を避ける意味で、国から示されている都道府県・市町村結果は整数値で示されております。まず、小学校では、すべての教科において、北海道の平均正答率を上回る結果となり、また両教科とも、全国の平均正答率にはやや満たない結果となりました。中学校については、両教科とも、北海道及び全国の平均正答率を上回る結果となっております。

3ページには、平均正答率の全国との差をグラフで結果をお示ししております。一昨年度より、調査問題の形式が変わり、問題が一体化したこと、また、昨年度は調査中止とな

ったことから、単純な比較は難しいと思いますが、例えば、平成30年度の小学6年生の結果と、今年度の中学3年生の結果を見比べてみますと、当時小学校6年生で国語科が全国平均並み、またやや上回る結果だったお子さんたちが、中学校3年生で概ねこの学力をキープ。また、算数科では平成30年度に小学校6年生で全国平均値に満たなかったのが、中学校3年生で、全国平均を上回る結果となっております。このあたりは、中学校の先生方の頑張りによるところも大きいのかなと感じております。

4ページでは、併せて行っております「児童生徒質問紙調査」および「学校質問紙調査」の結果から特筆すべきものを掲載しております。児童生徒質問紙調査結果から、本市の児童生徒が1時間以上勉強する子の割合や、家で自分で計画を立てて学習する子の割合、特に、自分で計画を立てて学習を進めるお子さんの割合が、大幅に改善し、全国を上回っております。一方、学習する「時間」となりますと、一昨年度に比べ改善がみられるものの、いまだ全国に比べて低いことが見受けられました。

5ページ以降は、各教科に関する調査の結果をお示ししております。特に5、7、9、11ページは、特に全国における正答率の少ない層（約25%程度）に占める割合と、本市における正答数の少ない層に占める割合の比較などをお示ししております。これは、北海道教育委員会から出されている分析ツールを活用して行なっておりますけれども、こちらの数値を、全国との差で考えますと、小学校は算数科において、やや低位層の増加、中学校は数学科において低位層の減少がみられます。また、現在の中学校3年生の3年前の結果と比べますと、国語科においては低位層の割合が増え、数学科において改善していることが伺えます。

13ページ以降は、児童生徒が質問紙により回答した内容と、学力との相関関係を示すクロス集計の結果をお示ししております。色付きになっている部分は、全国平均の正答率よりも高くなっている部分でございます。どのような状況・状態のお子さんが、学力が高いまたは低い傾向にあるか、という分析結果となっておりますので、ご覧いただければと思います。例えば、13ページに記載しております「早寝早起き朝ごはん」に関する項目では、朝食を毎日食べている子、起床時刻、就寝時刻が整っている子であるほど、正答率が高くなっております。生活習慣に関することでは、スマートフォンを持っていない子や、持っても、使用時間が短い子、また、約束を守って使用しているお子さんの方が、明らかに正答率は高くなっております。

また、教科の学習については、やはり、「国語、算数」が、好き、大切、役に立つ、よくわかる、と回答しているお子さんの方が、正答率が高くなっております。家庭での学習習慣については、先ほども申し上げましたが、自分で計画を立て学習をする子、また、概ね1時間程度以上毎日継続して学習している子、また、伊達市は、単純な通塾率で国に比べて約20%、そのうち進んだ内容を学んでいるお子さんは国に比べ約10～15%程度少なくなっておりますが、そのような内容で学んでいるお子さんは、正答率が高い傾向にあります。

すべて説明すると大変長い時間を頂戴することになりますので、これ以外の部分に関しては、資料をご参照いただければと思います。なお、こちらの資料につきましては、今後、準備が整い次第、市のホームページ等で公表していくこととなります。

以上、令和3年度全国学力・学習状況調査の報告とさせていただきます。

◎影山教育長

報告第1号について、質疑はございませんか。

◎平田委員

13ページのクロス集計は各学校に周知はしているのでしょうか。

◎林指導室参事

クロス集計の数値につきましては、各学校に市全体の結果と全ての学校に照らし合わせ

た時のクロス集計値を送付し、学校の授業改善策に役立てていただくよう周知しております。

◎岩本委員

国語は全国的に見ても低下が見られますが、子ども達がゲーム等で本を読まなくなったということもあるのではないのでしょうか。そういう意味では図書館で行っていた読書感想文等、子ども達が本に接する機会が必要と思います。また、塾に行っている子は宿題がありますが、行っていない子については、学校の宿題が減っていますので、宿題も必要ではないかと思えますし、そのような事について、我々と学校の先生方が話し合う機会があってもいいかなと思っています。

◎影山教育長

他に、質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎影山教育長

報告第1号については、報告として受理することとします。

報告第2号の非公開案件は、受理される。

◎影山教育長

次に、各課から事業報告があります。

〔各課から事業報告を行った。〕

◎影山教育長

以上で、本日の日程はすべて終了いたしました。

これをもちまして、令和3年10月伊達市教育委員会・定例会を閉会いたします。

閉 会 （16時50分）